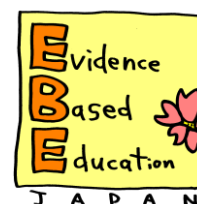


Evidence Based Education 研究会

～理論と実践の統合を目指して～

第8回大会



<日時>

2013年8月25日(日) 10:30～17:00

<場所>

同志社大学 今出川キャンパス 寧静館会議室(5F)

<タイムテーブル>

10:00-10:30 受付

10:30-10:40 開会の挨拶・EBE研究会の趣旨説明

10:40-12:10 研究発表

12:10-13:00 昼食

13:00-15:45 研究発表

(14:30-14:45 休憩)

15:45-16:45 講話 David Gough EPPI センター長/ London University

16:45-16:55 本研究会の今後について

16:55-17:00 閉会の挨拶

(別会場へ移動)

18:50- 懇親会

研究発表

時間	発表者	所属	発表テーマ
10:40～	大村 正樹	滋賀県公立小学校	エビデンスを「つたえる」役割としての学習指導要領を考える —イギリスとアメリカの EBE を手がかりに—
11:10～	山田 洋平	福岡教育大学	EBE についての理解を深めるワークショップ
11:40～	田辺 智子	国立国会図書館	評価学の視点から見た EBE
13:00～	中井 俊之	広島県公立小学校	EBE に基づく PDCA サイクル
13:30～	伊藤 直敬	岐阜県公立小学校	日記で育む感情教育 —エビデンスを実践して—
14:00～	牧野 誉	広島県公立中学校	EBE のエビデンスの質・学校現場における実践研究倫理の提案
14:45～	久保木 淳士	広島県公立中学校/法則化中学福山 代表	探究型理科授業の実践
15:15～	森 俊郎	岐阜県公立中学校	EBE が日本の教育をよりよくする

＜参加費など＞※受付時にまとめて徴収させていただきます。

- ・参加費…1,000円
 - ・弁当代…1,000円) ・懇親会…4,000円
- (会場周辺には、食事処やコンビニエンスストアなどはございません)

■Evidence Based Education 研究会第8回大会を迎えるにあたって

早いもので、本研究会の大会も8回目を数えることとなりました。

昨年の同時期に開催された第6回では、実に30名を超える参加者に来ていただけました。また、実践者や研究者に加えて、行政や一般企業に勤務する方に至るまで、多様な参加者にお越しいただきました。その中で、海外の動向も含めてエビデンスに基づく教育(Evidence Based Education, EBE)についてより深く共有できたのは、第6回大会の大きな成果といえます。一方で、「広義・狭義と様々に定義されるEBEにおいて、自分たちがめざすEBEとはどのようなものなのか」「どのような実践が『エビデンスに基づく』といえるのか」ということを示し切れていないという課題も見えてきました。

そこで、今年3月と8月に、それぞれ第7回・第8回大会を設定致しました。また、第7回を第8回の「プレ」と位置付け、第8回大会の目標を以下のように設定致しました。

- ・EBEの定義や概念を具体的に示す。
- ・エビデンスに基づく実践を1つ(以上)出す。

普段は現場や大学などで仕事をしながら、その中でも時間を見つけては、仲間と情報を交換したり時には叱咤激励し合ったりしながら、何とか目標に近付けるようにと進んできました。色々な人たちが集まって、教育について気軽に話せる場になれば幸いです。

当日は、皆さんにお会いでき、一緒にたくさん勉強して、そしておいしいお酒が飲めることを楽しみにしております。

Evidence Based Education 研究会 第8回大会実行委員長 大村 正樹

＜受付・問い合わせ先＞

EBE研究会事務局

か どもと ひとし
加登本 仁 (滋賀大学講師) ebe2013.8.25@gmail.com

<会場までのアクセス>

同志社大学 ^{いまでがわ}今出川キャンパス ^{ねいせいかん}寧静館会議室（5F）

〒602-8580 京都府京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町 601

<http://www.doshisha.ac.jp/information/campus/imadegawa/imadegawa.html>

